

「中学生の保護者の皆様へ」

72期・75期（現高3生）保護者

私は、72期の長男及び75期の次男（現高3生）の父親であり、昨年度（令和3年度）は本校のPTA会長を務めさせていただいた者です。ここでは、長男・次男の高校入試に至るまでの受験期及び入学後の学校生活を、保護者の目線からお伝えできたらと考えております。

ところで、私達家族は高槻市在住ではありますが、長男・次男は幼少期より茨木市にある音楽教室のレッスンに通っておりました。そういったこともあり、彼らは小さい頃から茨木という土地に親しみを感じていたようです。また、私も本校の卒業生と言うこともあって、そのレッスンの送迎のときに、わざと茨高の前を通り、「この高校に入学できたら、高校生になってもレッスンに通うことができるよ」という刷り込みを密かにしておりました。

そして中学生になった長男・次男はいずれも本校を志望するようになりました。中学生時代の長男に志望理由を聞いたところ、「自転車で通えるから」と言う意表を突く答えが返ってきました。また次男は、楽しそうに高校に通う長男の姿を見ていたので、自然と本校を志望するようになったようです。

このように、志望理由は「ありきたり」な彼らでしたが、高校入試に至るまでの期間中、志望校を変えることは一度もありませんでした。入試直前の成績を見ながら、受験校を他の高校に変更することも選択肢の1つだと言うことを伝えても、彼らの意思は変わりませんでした。そんな彼らの姿を見て、私達家族は腹を決めました。結果がどうなるうとも15歳の彼らの決断を尊重しようと考え、その後は生活面・勉強面に亘ってさらにサポートする決意を固めました。そして、長男・次男ともギリギリであったかもしれませんが、何とか本校に入学することができました。

入学後の長男について、彼は、行事やクラブ活動にそこまで積極的に参加するわけでもなく、巷で言われる「二兎を追う」タイプの茨高生ではありませんでしたが、高校生活は本当に楽しかったようで、仲間に恵まれ、様々な才能を持つ友人達と過ごすことができたようです。そして、最近の彼の言動・行動を見るに、いわゆる茨高生らしい経験をしていないであろう長男の中にも、脈々と受け継がれてきた「茨高マインド」が、友人達の姿を通じてしっかり培われていたことを感じております。

これに対して、入学後の次男は、長男とは打って変わって、行事やクラブ活動に積極的に参加しておりました。場合によっては、本業である勉強との両立で苦しむこともありましたが、その度に成長していく彼の姿を見ることができ、頼もしく感じておりました。

最後に、様々な選択肢の中、受験校の選択に悩まれている方もいらっしゃると思いますが、本校は、他校に負けず劣らず、非常に魅力的な高校です。今回の学校説明会が受験校選択の一助になることを切に願っております。